様式第16号

**提案書表紙**

※正本、副本用を作成すること。

※その際、以下の表に正本は企業名を記載し、副本は企業名を伏せること。

※企業数に応じて、適宜、行を追加し、企業名を記載すること。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ①入札参加者名 |  | | |
| 提案書類における企業名 | ②企業名 | ③役割 | ④種別 |
| ○○Ａ社 |  |  |  |
| ○○Ｂ社 |  |  |  |
| ○○Ｃ社 |  |  |  |
| ○○Ｄ社 |  |  |  |
| ○○Ｅ社 |  |  |  |
| ○○Ｆ社 |  |  |  |
| ○○Ｇ社 |  |  |  |
| ○○Ｈ社 |  |  |  |
| ○○Ｉ社 |  |  |  |
| ○○Ｊ社 |  |  |  |
| ○○Ｋ社 |  |  |  |
| ○○Ｌ社 |  |  |  |
| ○○Ｍ社 |  |  |  |
| ○○Ｎ社 |  |  |  |
| ○○Ｏ社 |  |  |  |
| ○○Ｐ社 |  |  |  |
| ○○Ｑ社 |  |  |  |
| ○○Ｒ社 |  |  |  |
| ○○Ｓ社 |  |  |  |
| ○○Ｔ社 |  |  |  |
| ○○Ｕ社 |  |  |  |
| ○○Ｖ社 |  |  |  |
| ○○Ｗ社 |  |  |  |
| ○○Ｘ社 |  |  |  |
| ○○Ｙ社 |  |  |  |
| ○○Ｚ社 |  |  |  |

記載上の注意事項

①入札参加者名　・入札参加者名欄には、入札参加者名を記載する。

②企業名　 ・提案書類に提示したＡ社からＺ社に対応する企業名を記載すること。  
ただし、第二次審査書類上、当該者の主要な業務内容が分かるようにアルファベットの前の○○には業務の役割（維持管理企業、運営企業、金融機関、保険会社、監査法人）が分かる呼称を付すこと。一つの者が本事業における複数の業務内容を担う場合は、当該者の本業を優先して呼称に使うこと。

（例：維持管理企業Ａ社）

③役割　　 ・当該企業の本事業における役割（維持管理、運営、レンダー、保険、アドバイザー）を分かりやすく簡潔に記載すること。

④種別　　 ・当該企業の本事業における種別（代表企業、構成員、協力企業、その他事業関係者のうち該当する種別）を記載すること。

様式第16-1号

ページ数：○／○

提案者番号：

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「事業実施方針」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・議員会館の特性を踏まえるとともに、民間事業者の創意工夫を活かした業務の実施体制。  ・個別課題に特化した専門チームや階層的な会議体の設置等、効果的なプロジェクトマネジメントが期待できる提案。  ・業務の実施体制について、ＳＰＣ等により一元的な管理がなされ、円滑、迅速な対応がなされる体制となっていることに加え、透明性や説明責任を果たせるマネジメント体制。  また、参議院との効果的な連携を可能とし、かつ参議院の負荷を軽減するような効果的な連携体制構築。  （例えば、維持管理業務、運営業務各々を総括する常時連絡可能な窓口を設置し、維持管理・運営従事者が連携し業務を遂行する体制など。）  ・円滑な意思決定が可能なＳＰＣの経営体制。  また、業務実施に必要な能力を有する構成員が確保されるとともに、ＳＰＣと各構成員及び協力企業との契約関係・役割分担等が事業の安定性及び効率的な業務実施に特に貢献する内容の提案。  ・事業途中段階で要求水準内容等の変更があった場合であっても、類似の実績で有用であった事例を踏まえ、柔軟に対処できる方策や参議院に対する善後策の提案等を行い、事業の円滑な推進が図れるものとなっている提案。  ・その他、本項に関する有益な提案。  また、以下の項目については、具体的な提案を行うこと。  ・情報管理及びプライバシーの保護について格段の注意を払うための体制の提案。 |

**【事業方針】事業実施方針**

様式第16-2号

提案者番号：

ページ数：○／○

**【事業方針】リスクへの対応**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「リスクへの対応」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・本事業を実施するに際して想定されるリスクが網羅的に示されており、かつそれらの重要度等を踏まえての、リスクの回避方策及びリスクが具現化した場合の適切かつ具体的な対応方針。  ・本事業を実施するに際して想定されるリスクについて、関係者間の責任者能力を踏まえた適切なリスク分担がなされており、それらが具現化した際に対応能力が担保された提案。  ・本事業を実施するに際して想定を超えるリスクが発生したときに更なるリスク対応を可能とする方策。  ・その他、本項に関する有益な提案。 |

様式第16-3号

提案者番号：

ページ数：○／○

**【財務計画】財務計画/財務安定性の確保**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「財務計画/財務安定性の確保」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  また、添付資料①～⑤を添付してください。  ・本事業の性質を踏まえた、適切な財務計画に関する基本方針。  ・事業の安定性と継続性を確保することが可能な適切な財務計画（損益計画、資金収支計画、配当方針等）。  ・本事業を実施するに際して想定されるリスクを踏まえ、将来の不確定要素を考慮した確実性の高い事業収支の考え方。  ・事業内容の変更があった場合でも柔軟な対応が可能な財務的対応方策。  ・その他、本項に関する有益な提案。 |

様式第16-4号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【社会的要請への対応】労働環境等への配慮**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「労働環境等への配慮」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・社会環境の変化を踏まえ、業務従事者の雇用に対してワークライフバランス等を推進する提案。  ・社会の多様性を考慮した環境整備や、これを実現できる適切なマネジメントの仕組み。  ・全ての業務従事者に対して適切な労働環境が提供される仕組み。  ・その他、本項に関する有益な提案。 |

様式第16-5号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【社会的要請への対応】環境負荷の低減**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「環境負荷の低減」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・運用コストに関する見直し、削除方策に関する検討、参議院と協働して実施すべき省エネルギーに対する取組み等の具体的な提案。  ・エネルギー消費量及びそれに伴う特定温室効果ガス排出量の検証実施体制及び実施方法並びに参議院が行う検証への協力体制についての具体的な提案。  ・予防保全の考え方に基づき、ライフサイクルコストの縮減に資する建築物及び設備の維持管理計画。  ・その他、本項に関する有益な提案。  また、以下の項目については、具体的な提案を行うこと。  ・維持管理・運営における省エネルギー手法の提案。 |

様式第16-6号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【長期修繕計画に基づく更新等業務】**

**業務計画（業務遂行体制を含む）及び長期修繕計画に基づく更新等業務における水準向上方策**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務計画（業務遂行体制を含む）及び長期修繕計画に基づく更新等業務における水準向上方策」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横３ページ以内)  ・参議院が示した長期修繕計画を基に、より良好な状態の実現方策が見込める具体的な長期修繕計画。  ・設備等の耐用年数、施設の特性を考慮した、施設への影響を最小限とする優れた長期修繕計画。  ・技術進歩に柔軟に対応することが可能な提案。  ・事業期間中に計画の変更があった場合であっても、類似の実績で有用であった事例を踏まえ、柔軟に対処できる方策や善後策の提案等を行い、事業の円滑な推進が図れる有効な提案。  ・予防保全の観点で、長期間にわたる施設性能の維持に資するとともに、事業期間終了後の長期の供用期間における修繕コストの縮減に関する提案。  ・十分な実務経験を有した業務従事者を確実に配置できる具体的な提案。  ・参議院が本事業以外で発注する他の工事等との間で効果的で円滑な調整や連携を行うに当たっての提案。 |

様式第16-7号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【長期修繕計画に基づく更新等業務】業務実施期間中の執務環境等への配慮**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務実施期間中の執務環境等への配慮」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横２ページ以内)  ・業務実施に当たり、国会情勢等により柔軟な対応が期待できる施工計画・体制。  ・居ながら工事を行うに当たって、業務実施期間中の施設利用者への利便性の確保や安全性の確保に配慮がなされた計画提案。  ・居ながら工事を行うに当たって、業務実施期間中の執務環境の確保に配慮がなされた計画。  ・業務実施中における執務者及び施設利用者の安全対策。  ・業務実施中における景観及び仮設物等の意匠に関する提案。  ・業務実施中の騒音・振動の低減、臭気対策について配慮がなされた計画。 |

様式第16-8号

ページ数：○／○

提案者番号：

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務計画（業務遂行体制を含む）及び建築物点検保守・修繕業務、建築設備運転・監視業務における水準向上方策」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横３ページ以内)  ・本事業の性質を踏まえ、適切な業務遂行能力のある業務従事者を確実に配置できる具体的な提案。  ・参議院職員との連絡体制に係る業務実施計画。  ・参議院が本事業以外で発注する他の工事等との間で効果的で円滑な調整や連携を行うに当たっての提案。  ・施設利用者からの要望等への柔軟かつ早急な対応方法。  ・長期修繕計画に基づく更新等業務と連動した業務計画及び実施体制。  ・建築物点検保守・修繕業務及び建築設備運転・監視業務のそれぞれの業務が連動し、効率的に業務を実施できる体制に関する提案。  ・本業務の実施に当たり、議員会館の特性への理解度が高く、より良好で具体的な提案。  ・施設利用者の利便性及び安全性並びに快適で安定的な執務環境の確保に関する提案。  ・その他、本項に関する有益な提案。  また、以下の項目については、具体的な提案を行うこと。  ・建築物点検保守・修繕において、適切に点検保守を行い、破損、劣化等の不具合箇所には修繕等の適切な処置を行う手法の提案。  ・各種システム及び議員会館サービスサイトについて、要求水準（現状と同等の水準以上のシステム利用による業務の効率性を確保）を満たすことができる改修の提案。 |

**【建築物点検保守・修繕業務及び建築設備運転・監視業務】**

**業務計画（業務遂行体制を含む）及び建築物点検保守・修繕業務、建築設備運転・監視業務における水準向上方策**

様式第16-9号

**【清掃業務】業務計画（業務遂行体制を含む）及び清掃業務における水準向上方策**

提案者番号：

ページ数：○／○

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務計画（業務遂行体制を含む）及び清掃業務における水準向上方策」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・本事業の性質を踏まえ、適切な業務遂行能力及び実績のある業務従事者を確実に配置できる具体的な提案。  ・効率的で質の高い業務の進め方及び業務従事者の資質向上のための教育方針・研修環境などの具体的な提案。  ・参議院職員との連絡体制に係る業務実施計画。  ・施設利用者からの要望等への柔軟かつ早急な対応方法。  ・他の維持管理業務及び運営業務と連携し、効率的に業務を実施できる体制。  ・本業務の実施に当たり、議員会館の特性への理解度が高く、より良好で具体的な提案。  ・施設利用者の利便性及び安全性並びに快適で安定的な執務環境の確保及び業務提供時間帯を考慮した効率的なサービス提供のための具体的な提案。  ・その他、本項に関する有益な提案。  また、以下の項目については、具体的な提案を行うこと。  ・各清掃箇所について、施設の特徴に応じた適切な方法等の提案。 |

様式第16-10号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【運営業務（警備業務を除く）】**

**業務計画（業務遂行体制を含む）及び運営業務（警備業務を除く）における水準向上方策**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務計画（業務遂行体制を含む）及び運営業務（警備業務を除く）における水準向上方策」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横３ページ以内)  ・本事業の性質を踏まえ、適切な業務遂行能力及び実績のある業務従事者を確実に配置できる具体的な提案。  ・効率的で質の高い業務の進め方及び業務従事者の資質向上のための教育方針・研修環境などの具体的な提案。  ・ワンストップサービスなど、議員会館サービスセンターの対応。  ・参議院職員との連絡体制に係る業務実施計画。  ・ 施設利用者からの要望等への柔軟かつ早急な対応方法。  ・他の運営業務及び維持管理業務と連携し、効率的に業務を実施できる体制。  ・本業務の実施に当たり、議員会館の特性及び運営規程等への理解度が高く、より良好で具体的な提案。  ・施設利用者の利便性及び安全性並びに快適で安定的な執務環境の確保及び業務提供時間帯を考慮した効率的なサービス提供のための具体的な提案。  ・その他、本項に関する有益な提案。 |

様式第16-11号

提案者番号：

ページ数：○／○

**【議員・立法活動におけるセキュリティの確保（警備業務）】**

**業務計画（業務遂行体制を含む）及び警備業務における水準向上方策**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務計画（業務遂行体制を含む）及び警備業務における水準向上方策」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横３ページ以内)  ・本事業の性質を踏まえ、適切な業務遂行能力及び実績のある業務従事者を確実に配置できる具体的な提案。  ・効率的で質の高い業務の進め方及び業務従事者の資質向上のための教育方針・研修環境などの具体的な提案。  ・セキュリティレベルに応じた人的警備と機械警備の組合せが適切で十分な効果が見込める業務計画。  ・参議院職員との連絡体制及び連携・協力体制。  ・他の運営業務及び維持管理業務並びに参議院と連携し、効率的に業務を実施できる体制。  ・災害時・緊急時における迅速かつ適切な対応がとれる体制。  ・本業務の実施に当たり、議員会館の特性及び運営規程等への理解度が高く、より良好で具体的な提案。  ・第一期事業からの継続性を維持しつつ、セキュリティの確保と施設利用者の利便性の双方を両立させるための方策。  ・施設利用者の利便性及び安全性並びに快適で安定的な執務環境の確保を考慮した効率的なサービス提供のための具体的な提案。  ・施設利用者に不快感を与えないための配慮。 |

様式第16-12号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【福利厚生業務】運営・経営計画（業務遂行体制を含む）及び福利厚生業務における水準向上方策**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務計画（業務遂行体制を含む）及び福利厚生業務における水準向上方策」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横２ページ以内)  ・本事業の性質を踏まえ、適切な業務遂行能力及び実績のある者を確実に配置できる具体的な提案。  ・利用者からの要望等への柔軟かつ早急な対応方法。  ・議員会館の特性（限定された商圏等）を踏まえ、業務の効率化等により、安定的な運営が確保される計画・体制。  ・利用者満足度を高める工夫、継続的に維持・改善するための効果的かつ具体的な提案。  ・その他、本項に関する有益な提案。  また、以下の項目については、具体的な提案を行うこと。  ・福利厚生施設各店舗について、各業務を適切に実施できる運営業者及びサービス内容等の提案。 |

様式第16-13号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【モニタリング】業務全体におけるサービス水準の確保**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「業務全体におけるサービス水準の確保」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・継続的業務改善等により、業務改善方策として実効性のある優れたセルフモニタリングの実施方法。（チェックバック体制等）  ・モニタリング全般にわたり、ＳＰＣの主体的関与が明確であり、事業全体を統括した業務の十分な効率化を図った提案（各業務の連携による効率的な事業計画、業務従事者の資質向上のための教育等）。  ・参議院が行う業績監視が効果的かつ簡便に実施できるようなモニタリング方法の工夫。  ・モニタリング結果を踏まえ、業務水準の更なる向上を実現する継続的な業務改善方法。  ・その他、本項に関する有益な提案。 |

様式第16-14号

提案者番号：

ページ数：○／○

**【災害時・緊急時の対応】災害時・緊急時の対応**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「災害時・緊急時の対応」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横１ページ以内)  ・本事業を実施するに際して想定される災害や緊急事態を適切に想定し、これらへの対応についての事前の予防対策や業務継続の確保策等に関する適切な提案。  ・災害時・緊急時のバックアップ等の具体的で実効性がある応急措置のための体制。  ・災害・緊急時前後の参議院及び関係機関との連携方策。  ・災害時・緊急時において、施設利用者の安全性を第一に配慮した具体的な提案。  ・その他、本項に関する有益な提案。  また、以下の項目については、具体的な提案を行うこと。  ・議員会館の機能が非常時（災害時等を含む。）においても十分に発揮できる体制整備等の提案。  ・災害時・非常時の防災センターや参議院職員等との連絡体制や業務提供時間帯以外の対応についての提案。 |

様式第16-15号

ページ数：○／○

提案者番号：

**【事業開始時及び事業終了時の引き継ぎ等】事業開始時及び事業終了時の引き継ぎ等**

|  |
| --- |
| 事業者選定基準に記載した評価項目の「事業開始時及び事業終了時の引き継ぎ等」について、評価の視点に係る提案を記述してください。 (Ａ３版・横２ページ以内)  ・事業開始時において、参議院や第一期の事業者から適切に引継ぎを行い、円滑に業務を開始できる方策。  ・参議院（及び次期事業の事業者）に対する引継ぎが必要な場面において、事前の調整事項や留意すべき事項が具体的に示され、円滑かつ効果的な引き継ぎが見込まれる提案。  ・事業期間終了時に効率的な施設の運用に資する施設管理ノウハウ、その後の効率的な施設の性能維持及び中長期保全計画の新たな見直しを含む立案に資する方策等を容易に引き継ぐための具体的な提案。 |